



佐賀大学が令和5年度大学・高専機能強化支援事業
(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援) に選定

【概要】

佐賀大学は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が公募した「令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」に申請し、7月21日（金）付で選定されました。

【本文】

【大学・高専機能強化支援事業とは】

大学・高専機能強化支援事業は、大学又は高等専門学校の設置者に対し、デジタル・グリーン等の成長分野の学部等の設置・増員等に必要な資金に充てるための助成金を交付することにより、全国各地における当該成長分野の学部等の設置・増員等を促進することを目的とした助成事業です。

佐賀大学は、大学院理工学研究科及び理工学部の情報分野の入学定員を増員する計画を申請し、同公募において選定されました。

【本事業における佐賀大学の取組】

佐賀大学は本事業において、主に以下の取組を実施します。

1. 令和6年度から理工学部（データサイエンスコース、知能情報システム工学コース、情報ネットワーク工学コース）の入学定員を計30名増員し、学部全体の入学定員を480名から510名にする。特に、学部入試には5名程度の女子枠入試の導入を今後検討する。また、学年進行に併せて、令和10年度から大学院理工学研究科（博士前期課程・データサイエンスコース、知能情報工学コース）の入学定員を計20名増員し、研究科全体の入学定員を167名から187名にする。
2. 今後の北部九州における情報系人材需要に応えるため、オールラウンダー（分析、調査、企画・管理の全ての分野に対応できる）な人材、データ取得から保存、提供の仕組みを作り、運用する技術を持つ人材を育成する教育分野を拡充する。
3. 地元企業・自治体と協力し、人材ニーズの教育カリキュラム反映、実務家教員の確保、インターンシップや共同プロジェクトの実施を行い、高度情報系専門人材の育成における地域の中心的な役割を担うことを目指す。

以上のような取組を通じて、佐賀県をはじめとする周辺地域の社会変革を担う大学を目指し、産学官連携の推進による教育・研究活動の高度化を通じて、持続可能な地域社会の実現に寄与していきます。